

消化器内視鏡研修の概要

4月		5月		6月	
前半	後半	前半	後半	前半	後半
<ul style="list-style-type: none"> ●内視鏡検査に必要な基本的知識（手順、機器の構造）の習得 ●シュミレーターを使用し、基本的なスコープの扱いに慣れる ●内視鏡画像を見て部位（及び病変）の説明ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●シュミレーターを使用し、実際的なスコープの扱いに慣れる ●Sedation下での内視鏡挿入と操作の習得及び観察、写真撮影 	<ul style="list-style-type: none"> ●Sedationなしでのスコープの挿入と操作の習得及び観察、写真撮影 ●Sedation下での生検操作の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ●Sedationなしの生検操作の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ●大腸内視鏡検査法の知識の習得とシュミレーターを用いた実習 ●大腸内視鏡において、S状結腸までの挿入法の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ●簡単な症例の全結腸内視鏡検査を一人でやりとげる

7~8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> ●上部消化管内視鏡において癌症例の拾い上げができる ●大腸内視鏡において50%以上の症例で回盲部まで挿入できる ●消化管X線検査法について手技を理解し、簡単な二重造影像を撮影することができる ●消化管の組織解剖を理解する（病理） 	<ul style="list-style-type: none"> ●治療内視鏡の原理を理解し、器材の取扱いができる ●治療内視鏡の手技を理解し、適切な内視鏡介助ができる

10~12月	1~3月
<ul style="list-style-type: none"> ●大腸内視鏡において80%以上の症例で回盲部まで挿入できる ●上部消化管内視鏡において病変の拡大・NBIでの観察ができる ●大腸内視鏡において病変の拡大・NBIでの観察ができる ●食道、胃X線検査を一人で撮影することができる ●消化管生検材料で基本的な所見を理解する（病理） 	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急内視鏡検査を行い、簡単な止血処置ができる ●大腸内視鏡において簡単な症例のEMRが施行できる ●大腸内視鏡において女性や高齢者（挿入困難例）でも回盲部まで挿入できる ●食道、胃X線画像を正しく判定することができる ●簡単な消化管生検材料をGroup分類できる（病理）